

横浜美術館コレクション展 2015 年度第 3 期

The Exhibition of the Yokohama Museum of Art: Collection 2015 Part 3

2015 年 11 月 2 日

神話とヌード

Mythology and the Nude

抽象と構成 ～工業化と都市のイメージ

Abstraction and Construction: Images of Industrialization and the City

無名都市 ～現代の写真に見る匿名の風景

The Nameless City: Anonymous Landscapes in Contemporary Photography

コムデギャルソンの家具

The Furniture of COMME des GARÇONS

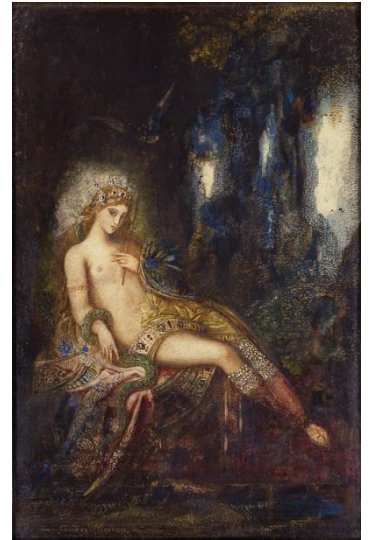
横浜美術館

2015 年 11 月 3 日(火・祝)

—2016 年 4 月 3 日(日)

横浜美術館 2015 年度コレクション展第 3 期は、4 つのテーマにより構成します。

「神話とヌード」と題したパートでは、ヨーロッパと日本における多様なヌードの表現を、神話的テーマとの関係から紹介します。西洋美術における裸体表現は、古代ギリシア美術の理想的な身体を具現化した存在である神々や戦士にまで遡ることができます。とりわけ女性の裸体は、美を象徴する女神アフロディテ（ヴィーナス）の姿として制作されることが多くありました。ルネサンス以降は、長いあいだ神話的テーマであることが、公の場で発表される女性のヌードの条件とされてきました。こうした主題による表現の束縛は、近代以降、前衛的な芸術運動の開花と共に、より自由で多様なテーマと表現技法へと展開していくようになりました。展示を 3 つのセクションに分け、〈美の象徴としての神々〉では、古典的な神話画の伝統を受け継ぐ絵画や 19 世紀の絵画的写真を、〈変身・変化の象徴としての神々〉では、西洋のモダニズム絵画を、そして〈聖と俗〉では、日本画や現代の絵画をご覧ください。



ギュスターヴ・モロー《岩の上の女神》
1890 年頃、坂田武雄氏寄贈

「抽象と構成 ～工業化と都市のイメージ」では、20 世紀初頭、工業化が進む社会の中で、急速に変化していく都市の風景や、機械や工業製品に向けられた芸術家たちの視線に焦点をあてていきます。前半部は〈構成主義と都市〉と題し、構成主義だけでなく、ダダやキュビズムなど、20 世紀前半のヨーロッパにおける前衛的な芸術運動と合わせて、プラスチックやアルミニウムなど当時の新素材を用いた彫刻作品、絵画における抽象的構成への志向を示す作品などを展示します。後半部では〈集積するイメージ〉と題して、20 世紀後半、工業的イメージが持つ記号的な側面に着目していったネオ・ダダや、マスメディアを通じて繰り返し登場する大衆文化や消費社会を象徴するイメージを素材としたポップ・アートなど、主にアメリカを拠点に活動した作家たちの作品を紹介します。

「無名都市 ～現代の写真に見る匿名の風景」では、現代の日本における写真と映像が描き出す匿名化する都市風景を、中平卓馬、清野賀子、米田知子の写真作品に、金氏徹平の映像作品を加えて紹介します。ここでは併せて、世界を代表するファッション・ブランドであるコムデギャルソンが、中平卓馬や清野賀子の作品を店舗などで紹介してきたことに因み、コムデギャルソンの家具を同じ空間内で紹介します。

また、2015 年 11 月 3 日～2016 年 1 月 11 日に開催される「横浜発 おもしろい画家：中島清之一日本画の迷宮」展の会期中には、「大正・昭和の横浜から」という小企画も開催し、およそ 100 年前に横浜で撮影された貴重な記録映像と、当時の横浜で生産された宮川香山の眞葛焼などの陶磁器を紹介します。



ヴァシリー・カンディンスキー
《網の中の赤》1927 年

展示構成

神話とヌード

- 第 I 章 美の象徴としての神々 【出品作家】オディロン・ルドン、ギュスターヴ・モロー、モーリス・ドニ、ポール・セザンヌ、藤田嗣治、ほか
第 II 章 変身・変化の象徴としての神々 【出品作家】ポール・ゴーギャン、アンリ・マ蒂斯、パブロ・ピカソ、ヴィフレド・ラム、ほか
第 III 章 聖と俗 【出品作家】鎌木清方、太田聰雨、小倉遊亀、松井冬子、諏訪敦、長谷川潔、ほか

抽象と構成 ～工業化と都市のイメージ

第 I 章 構成主義と都市

- 【出品作家】コンスタンティン・ブランクーシ、マックス・エルンスト、ヴァシリー・カンディンスキー、ジョルジュ・ブラック、ジョアン・ミロ、ウォーカー・エヴァンズ、ほか
第 II 章 集積するイメージ

- 【出品作家】リチャード・ハミルトン、アンディ・ウォーホル、ジャスパー・ジョーンズ、バーバラ・クルーガー、クレス・オルデンバーグ、Dr.ラクラ、ほか

無名都市 ～現代の写真に見る匿名の風景

【出品作家】 中平卓馬、清野賀子、米田知子、金氏徹平

コムデギャルソンの家具

【出品作家】 川久保玲

ホワイエ、グランドギャラリー イサム・ノグチと近代彫刻

清野賀子《千葉》(「The Sign of Life」より) 2000年、清野良民氏・訓子氏寄贈

展覧会の見どころ

- ノードによる身体を表現した欧米と日本の作品を、神話との関係に焦点をあてて、ギュスターヴ・モローやポール・セザンヌなど西洋近代の画家たちの作品から、松井冬子や諏訪敦など日本画や現代の絵画まで、3つのセクションで紹介。
- 20世紀初頭から現代までの都市イメージの変遷を、アレクサンドル・ロトチェンコからアンディ・ウォーホルやDr.ラクラに至るまで、ダイナミックに展示。
- 当館収蔵後、初出品となるコムデギャルソンの家具を、同ブランドと縁の深い写真家・清野賀子の新収蔵作品や、2015年9月に死去した中平卓馬の作品と共に展示。
- 中島清之展会期中限定で、1917-18年に日本で撮影された貴重な記録映像「Beautiful Japan」より、横浜にスポットをあてた特別編集版を上映。

関連イベント**【アーティスト・トーク】**

講師：①金氏徹平(美術家)/②諏訪敦(画家)

日程：①2016年2月13日(土)/②2016年3月12日(土)

時間：いずれも14:00～15:00

会場：コレクション展展示室

参加費：無料(当日有効の観覧券が必要)

座席数：各回40席 申込：不要

【ギャラリートーク】

さまざまな視点から作品の見どころを紹介する、エドゥケーター(教育担当)によるトーク。

日程：2015年11月6日、11月20日、12月4日、12月18日、
2016年2月5日、2月19日、3月4日、3月18日(いずれも金曜日)

時間：いずれも14:00～14:30 会場：コレクション展展示室

参加費：無料(当日有効の観覧券が必要)

【横浜美術館鑑賞クラブ「美術ってなんじゃもんじゃ？」】

子どものアトリエスタッフと共に、作品を鑑賞したりグループで創作を行うワークショップ。

日程：2016年2月7日、14日、21日(いずれも日曜日)

時間：14:00～16:00 対象：小学校4・5・6年生

定員：10名(要事前申込・抽選) 参加費：3,500円(材料費含む)

【TOPICS】

「無名都市 ～現代の写真に見る匿名の風景」は、「PHOTO YOKOHAMA(フォト・ヨコハマ)2016」のオフィシャル・イベントとして参加します。

※「PHOTO YOKOHAMA2016」詳細は後日、横浜市より発表。

基本情報**横浜美術館コレクション展 2015年度第3期 2015年11月3日(火・祝)～2016年4月3日(日) ※1月12日～29日展示室休室**

会場 横浜美術館(〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1)

TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317 <http://yokohama.art.museum>

開館時間 10:00～18:00 (入館は17時30分まで)

休館日 木曜日(ただし2月11日[木・祝]は開館)、2015年12月29日(火)～2016年1月2日(土)

観覧料 一般500(400)円 大学・高校生300(240)円 中学生100(80)円 ※小学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金(要事前予約)

※11月3日(火・祝)無料 ※毎月第3月曜日は横浜市在住の65歳以上の方無料(「濱ともカード」をご提示ください)

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料 ※毎週土曜日は、高校生以下無料(生徒手帳、学生証をご提示ください)

※企画展ご観覧当日に限り、企画展の観覧券でコレクション展もご覧いただけます。

プレスリリースお問合せ

横浜美術館 広報担当(宮野、藤井、窪田、工藤) Tel. 045-221-0319 Fax. 045-221-0317 Email: pr-yoma@yaf.or.jp